公益社団法人乙訓青年会議所　広報誌

おとくにしんぶん ⑨

2014

http://www.otokuni-jc.org/

発行／公益社団法人乙訓青年会議所　〒617-0826 長岡京市開田３丁目 10-16 長岡京市立産業文化会館２F　編集／広報渉外委員会

Contents

８月例会・納涼会
異業種交流会
地域諸団体紹介

2014年度 公益社団法人乙訓青年会議所 スローガン JCI
不動心！
未来への原動力となれ！
―感謝を胸に活気あふれる乙訓を目指して―

乙訓文化少年団

八月二日（土）から三日（日）にかけて、「乙訓文化少年団八月キャンプ」が大森リゾートキャンプ場にて開催されました。

午前十時に文化少年団員が集合し、保護者が見守るなか事前説明が行われ、出発のはこびとなりました。当日の天気は生憎の下り坂。出発直前、保護者からは山での安全は大丈夫かとの心配の声も聞かれました。谷川委員長はじめメンバー一同、実施に当たり安全には最大の注意を払っていたので、自信を持って「大丈夫です。」と答えました。とは言え、天候が悪いとプログラムに影響が及び、変更を迫られることが予想されました。しかし、幸いにして大きく天候が悪化することなくキャンプをスタートし最後まで無事に終了することができました。

私は今回初めて役割を頂きながら文化少年団に関わる事ができました。

集合の時には、子どもの顔と名前が一致せず性格も知らず白紙の状態でしたが、色白なことから「カオジロ」（笑）というあだ名を同乗の子どもが付けてくれて、そこから知らない子どもとも話すきっかけが得られました。子ども達の間でも必ずしも「勝手知ったる仲間」というわけでもない様で、キャンドル作りや水鉄砲作り、沢登り、自然発生的な鬼ごっこ（参加しましたが、終わりが無く逃げ出せず疲れました。）等、このキャンプを通じて、泣いたり笑ったりしながら交流を深めた様でした。子ども達同士は当然のこととして、それ以上に自分と子ども達との間に新たな結びつきができた事がとても嬉しかったです。

最後に多くのメンバーの皆様にお手伝いや差し入れを頂き、おかげさまで大きな事故や怪我も無く開催出来ましたことに、青少年育成委員会メンバー一同深く御礼申し上げます。

（記事　青少年育成委員会　平木竜馬）

福知山災害ボランティア

八月十五日（金）から京都府内で降り注ぎました大雨により、福知山地域において広範囲に及ぶ災害が発生致しました。そこで八月十八日（月）、京都府ではボランティアセンターが立ち上り、公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会と連携を取り災害ボランティア活動を開始する事が決定致しました。そして直後に、京都ブロック協議会より京都府内十二青年会議所へ災害ボランティア参加メンバーを募集され、私達公益社団法人乙訓青年会議所からも理事長をはじめ、多数のメンバーが災害ボランティアに参加致しました。

現地の福知山市に入ると、メディア報道等の情報より被害は深刻な状況にあるのだと感じる状況でした。土砂崩れが発生した跡や、またその土砂が道路一面に流れていたり、中心部の床上浸水被害地域では増水した跡が建物の壁にはっきりと残っており、家屋の中では床下に沢山の土砂泥水が流れ込んでいました。

災害ボランティア活動では、要請のある場所へ順番にグループで向かい、家屋の床めくりや床下に流れ込んだ土砂泥水等の除去や浸水した家財の搬出や店舗の中の拭き掃除や道路一面の土砂の撤去をしました。また気温も高く、ほぼ人力での手作業でしたので、お住まいの方たちとの連携とチームワークが非常に重要でした。

夕方にはボランティア作業が終了となり終了のご挨拶をしますと、「ありがとう！ありがとう！ありがとう！」と何度も何度も御礼の御言葉を頂きました。まだまだ人員不足だったその時は、ボランティアで作業をしに来ていた私達ですが、自分達だけ帰るという行為が申し訳ないと、とても複雑な気持ちになってしまいました。

復旧にはまだ少し時間が必要かと思いますが、私達はこれからもボランティア活動や支援活動を積極的に行動で示していきたいと考えます。

（広報渉外委員会　委員長　水原年貴）

地域諸団体紹介

第二三回京都府消防操法大会

八月三日（日）丹波自然公園にて、第二三回京都府消防操法大会が開催されました。

公益社団法人乙訓青年会議所メンバーも、各々地元地域の為に二市一町の消防団へ多数の方が所属されておられます。中でも向日市の消防分団長として務められましたのが、広報渉外委員会　大塚健介　副委員長です。開会での行進は、向日市消防分団員を率いて先導された姿は、乙訓青年会議所で見る時とはまた違い堂々とした貫禄ある姿でした。

開会式が終わり大会の操法では、一つ一つの動作とスピードと何より連携された団員の息が見事に合っており、大会前までの練習に相当な力を入れて来られたのだと感じ素晴らしかったです。日頃より訓練された、京都府内の消防団員の皆様の勇姿を拝見する事が出来ました。

（記事　広報渉外委員会　榊原政人）

会員募集

青年会議所（ＪＣ）は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてＪＣの扉を開いて頂ける事をお待ちしています。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。

ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）まで

第六回乙訓ＪＣ説明会

まず、今回の説明会で４名の多くの入会候補者に参加して頂けた事、メンバーの皆様のご協力に感謝致します。

懇親会にも多くのメンバーに御参加して頂き、また入会候補者も和んだ雰囲気が見受けられました。

この調子で少しでも多くの方に乙訓青年会議所の事業や活動を紹介して魅力を知って頂き、共に行動出来る仲間を増やして行きたいと思っております。

本年度、会員拡大委員会では２０名の会員拡大目標を掲げ日々活動しております。

この目標が達成あと６名となりました。目標達成する為には、皆様のご協力なくしては達成できないものと考えておりますので、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

（記事　会員拡大委員会　下平 祐婦子）

長岡天満宮夏祭り

八月二十五日（月）長岡京市長岡天満宮にて、長岡天満宮 夏祭りが開催されました。こちらのお祭りは、毎年八月二十五日に開催されているそうです。

長岡天満宮青年会主催によります江州音頭では、誰でも輪の中に自由参加出来ますし、他にも各種催しが行われ、露店も多数出展され大賑わいでした。また、前日の宵宮には無料のクラシックコンサート（整理券が必要）も定着化し催されていて朱塗りの拝殿で夏の一夜が楽しめます。乙訓青年会議所ＯＢ様やメンバーも、地元の夏祭りということで多数が来られ、また長岡天満宮青年会にも多数所属され地域振興に頑張っておられます。

こちらの夏祭りには約一万人超の来場者があり、毎年工夫もされ増加しているそうです。

来年も楽しみです！

（記事　広報渉外委員会　金子明日嘉）

編集後記

乙訓ＤＲＥＡＭフェスタを、一枚岩となって成功させましょう！（委員長　水原年貴）

広報渉外委員会

委員長 水原年貴　　編集長 中川浩司　副編集長 大塚健介　編集委員 上坂彰男　金子明日嘉　榊原政人　波多野裕人　中知哉　村中志津佳